

臨床検体使用に関するお知らせ

【研究課題】

「プロペンシテイスコア・マッチング法による関節リウマチに対するトファシチニブとアバタセプトの効果と臨床的有用性の比較」

【研究の背景と目的】

2016年の欧州リウマチ協会のリコメンデーションの第2相ではTNF阻害剤、非NTF阻害剤とJAK阻害剤の使用が推奨されています。しかし非TNF阻害剤とJAK阻害剤との比較データは限られています。

そこで、医療法人社団光城会ひろせクリニックでは、多施設共同研究を企画して傾向スコア・マッチング法（プロペンシテイスコア・マッチング法）を用い、JAK阻害剤と非TNF阻害剤のアバタセプトの有効性と安全性の比較を行います。さらにHLA-DRB1対立遺伝子の中のshared epitope (SE)の有無がそれぞれの薬剤の治療効果に与える影響を調査することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、これまでになかった薬剤選択の指標となる重要なエビデンスを提供できる可能性につながります。

【研究の対象および方法】

この研究は、東邦大学医学部倫理審査委員会の承認を得て実施するものです。ひろせクリニックと下記の共同研究施設に於いて、2014年12月1日から2021年1月31日（予定）の間にトファシチニブ（ゼルヤンツ®）とアバタセプト（オレンシア®）による治療を受けた関節リウマチの患者様の中で、事前に同意文章にご署名を頂いた方を対象とします（約400例）。

HLA-DRB1対立遺伝子は、すべての被験者様に対して遺伝子解析研究への同意後に採血をして解析します。なお同意の得られない被験者様に対してはDNAを解析することはできません。こうして得られた遺伝子情報と調査票から得られる診療情報を解析することにより、関節リウマチの治療効果に与える因子を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報が外部に漏れることは一切ありません。

【共同研究施設】

防衛医科大学校 アレルギー膠原病内科、善仁会 市民の森病院 膠原病リウマチセンター、十条武田リハビリテーション病院 リウマチ科、なるしま内科
、
医院、青木内科クリニック、長澤クリニック、安藤医院、すずひろクリニック、新座志木中央総合病院整形外科、埼玉医大総合医療センター リウマチ膠原病内科

本研究に関してご質問のある方、診療情報や遺伝子解析の結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡をください。

【連絡先および担当者】

医療法人社団光城会 ひろセクリニック

職位・氏名 院長 廣瀬 恒

電話 04-2920-2111